

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	造園学概論 [Fundamental Landscape Architecture]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	
科目コード	231300	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	平岡直樹、岡島直方、林典生、関西剛康、牧田直子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(5)	
授業概要	<p>造園学に関する基本的な知識や技術を習得します。 造園計画や施工等にかかわる技術者が最初に目指す資格である造園施工管理技士の試験内容を中心に概説します。造園学分野で今後学習する科目群に関連して、具体的な事例を提示しながら授業を展開します。造園学の意義、造園学の歴史と様式、土壌と肥料、植栽、造園材料、造園施工、公園、土木関連工事、建築関連工事、設計・施工、関連法規など、基本的な内容を取り扱います。詳細な授業の進め方については、授業の初回の「ガイダンス」において説明します。 複数の実務担当教員がその実務経験を活かして、実際の造園計画、設計の業務や施工の現場での経験、事例を写真等を用いて示しながら、判り易く造園学の全体像をお示します。</p>						
関連する科目	測量学については、「測量学」「測量学実習」、庭園関係は「庭園学」などが関連する。						
授業の進め方と方法	この科目は教員によるオムニバス形式で講義が行われます。造園施工管理技術者の資格試験用の学習テキストを使いながら、担当する各教員が順番に授業で講義します。講義の終了時に小テストなどがあり、それぞれの回の授業内容が理解されているかどうか確認します。 特別講義では、造園の実務家を招聘し、アクティブラーニング型のワークショップを開催します。						
授業計画	<p>造園施工管理技術者の資格試験用の学習テキストに沿って行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 造園学とは ガイダンス 授業で使用するテキスト、授業の進め方、全体像を提示します。 2 1章: 造園の歴史と様式、日本庭園の歴史と様式 世界の造園史の概要を学びます。 3 2章: 土壌と肥料(土壌、肥料)、3章: 植栽計画・施工(植生、植栽計画、 4 植栽施工準備、移植工、植栽工、植栽管理) 5 4章: 造園材料(植物材料、花壇材料) 6 石材、その他の材料) 5章: 造園施工(造園施工、舗装・石積み工事、庭工事) 7 6章: 遊戯・運動・公園施設(遊戯施設、屋外運動施設、公園施設) 主に植物や造園に関わる計画や施工について学びます。 8 7章: 土木関連工事(土工事、コンクリート工事) 9 舗装工、擁壁工事、排水工事) 10 8章: 建築・設備関連工事(建築工事、電気工事、給水工事) 11 9章: 設計・測量(測量、設計図書) 12 10章: 施工管理(施工管理、工程管理、品質管理) 13 11章: 関連法規(労働基準法、労働安全衛生法、建設業法、都市計画関係法、建築基準法、その他の法規) 土木や建築など建設業一般にまたがる工事種目について学びます。 14 特別講義、ワークショップなど 実社会で活躍している人たちとのワークショップを通じて造園の実務の実情や課題を学びます。 15 総括 模擬試験など 2級造園施工管理士の受検を想定した練習問題に取り組み学んだ成果を確認します。 						
授業の到達目標	造園施工管理技士2級試験の合格レベルを目指す。【専門分野の知識・理解】【専門分野のスキル】						
授業時間外の学修	テキスト及び第1回目の授業で示す参考図書など造園学に関する資料を授業前に読んでおくこと。授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。また、造園学の分野がどのようなものであるかを理解するため、授業中に紹介する身近な造園空間を訪問したり、全国的著名な庭園や公園緑地に関わる資料や図版等を見ておくこと。予習復習1時間程度。						
課題に対するフィードバック	各授業のおわりに実施される小テストが概ね返却される。どこが自分の頭に入りにくい内容を自分で把握できる。			評価方法	小テストとレポートで100%評価するが、この内容が合格点に達していないと試験を実施することがある。		
テキスト	「2級造園施工管理徹底研究 オーム社 2800円」を使用します。入手方法については、第1回目の授業で説明します。毎授業に必ず持参してください。						
参考書							
備考							